

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



3・4月開催予定の講座案内

157回

題名 先進諸国の経済構造の変化の中で～所得格差拡大とパナマ文書

日時 平成29年3月9日(木) 14:30から約1時間

講師 新飯田 宏 氏(横浜国立大学名誉教授)

内容 世界経済の展望をめぐり、悲観論が急速に拡大しています。実際、昨年6月イギリスのEUからの離脱、11月ドナルド・トランプ氏のアメリカ大統領選の勝利、という予想外の結果の背景には、資本主義経済の市場原理とそのグローバルな展開に基づく「生産と分配」のメカニズムに対して、多くの市民が強い疑念を抱くに至っている、と理解するのがフェアでしょう。この講義では、過度のグローバル化によって容易になった国際間の所得移転の実態と国際税制の「ゆがみ」を公表したパナマ文書にも触れながら、T.ピケティの指摘する所得格差拡大の命題を検討します。

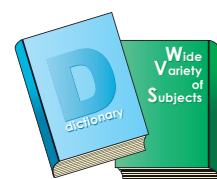
158回

題名 作家 遠藤周作・曾野綾子たちと聖地を歩いて～日本に影響を与えたユダヤ・キリスト教
日時 平成29年4月13日(木) 14:30から約1時間 講師 中村 青生 氏(イスラエル研究家)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年4月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は4月13日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1081回	4月6日(木) 14:00から	明治維新と奄美の砂糖	大江 修造 氏 (元東京理科大学教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1082回 ※	4月13日(木) 14:30から	作家 遠藤周作・曾野綾子たちと聖地を歩いて～日本に影響を与えたユダヤ・キリスト教	中村 青生 氏 (イスラエル研究家)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1083回	4月20日(木) 14:00から	高齢化社会を生き抜く～相続・遺言・成年後見	原 孝雄 氏 (ファイナンシャルプランナー、行政書士)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩2分)
第1084回	4月27日(木) 14:00から	神代の大企業合併～高天原と出雲	玉川 千里 氏 (記紀講師、元森永製菓(株)取締役、元森永スナック食品社長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1082回は、第158回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第109回

飯能戦争に散った振武軍始末記 ～多摩に迫った戊辰戦争の危機～

【講師】 原田 環爾 氏

多摩及びその周辺のむかし道・伝承地を訪ねて20年。その経験をもとに立川市民交流大学、ひの市民大学、東京国際大学、TAMA市民塾などで講演。ホームページ『多摩のジョギング道』、ブログ『多摩の道探訪記』を主宰。

【内容】

慶応4(1868)年、多摩の近郊飯能で戊辰戦争がありました。たった半日で決着したこの戦は、世に飯能戦争と言います。新政府軍に対峙したのは振武軍です。振武軍は上野戦争で知られる彰義隊から分離結成された武力集団です。決戦場が上野から飯能へ向かう過程で、多摩は戦乱の危機に直面します。今回は振武軍が結成された経緯、上野戦争への対応、多摩に迫った危機、飯能戦争の顛末と主導した人達のその後についてお話しします。



日時 平成29年4月16日(日) 14:00～16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

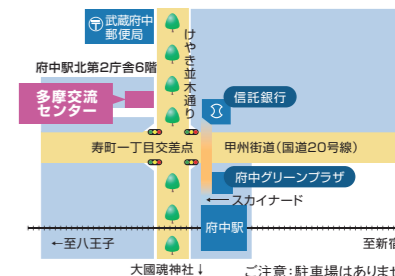
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 春、弥生、年度末を迎えました。早くも来月から、平成29年度が始まります。みなさんも、卒業・入学・就職・異動など、出会いと別れの季節を目前に控え、多忙なときをお過ごしのことと思います。当調査会では、平成29年度の調査研究テーマも決まり、新年度事業の開始に向けて準備を進めています。
- 平成28年度は、国内外において、社会経済情勢に大きな影響をもたらす出来事がありました。英国のEU離脱、アメリカ大統領選挙の結果、都知事の交代など、去年の今頃には誰も予測できなかったことが、次々と起こりました。わずか一年先のことさえも読めない、先行き不透明な時代にあることを誰もが実感させられました。
- また、過労死に端を発した働き方の問題や24時間社会の在り方、就労に大きく関わる保育園対策・介護対策、高齢ドライバーの事故多発、子どもの貧困問題なども社会問題としてクローズアップされています。これらは早くからこうした事態を予測していた識者によって警鐘を鳴らされていた問題が、いよいよ顕在化してきた形となっています。

- これら、社会経済上の様々な課題に対処するための新たな対策づくりは、風雲急を告げ、社会の変化を伴いながら進んでいきます。わかりやすい事例で言えば、テクノロジーの進歩で自動運転などのいわゆるAI革命は、物流や交通分野の就労を奪うと言われていています。ドライバーや交通機関の運転手がいなくなる社会が近づいているということです。しかし、見方を変えれば、かねてから運転手などの労働力不足が顕著なこの分野において、AIの活用は経済成長に不可欠ということもできます。また、過疎地の交通対策や高齢ドライバーの事故対策にも効果的です。
- あくまで一例でしたが、社会の抱える課題は様々な分野で関連しており、技術の進歩や制度の枠組み変更に伴い、あらゆる分野で同様のことが起こり、仕事や生活に大きな変化が生じます。これからの社会に適応していくためには、新たな技術や枠組み等に沿った考え方や生活様式の変化への適切な対応が必要です。自治体の事業もこれらの大きな流れと無縁ではありません。
- 何が起きてもしっかりと対処していく覚悟をもって、新たな季節のスタートを迎えたいものです。(M.N)